

地中海食の本場イタリアでも、地中海食で大腸がんリスク低下

地中海食の順守が幾種類かのがんのリスク低下と関連するとされているが、地中海地域で実施された研究は少ない。

本研究では、イタリアの3件の症例対照研究のデータから大腸がん症例3,745例と院内コントロール6,804例を対象に、地中海食と大腸がんのリスクとの関連について検討した。地中海食の順守度は、9成分に基づく経験的な地中海食スコア(MDS)を用いて評価した。その結果、地中海食の順守度が最も低い群(0~2MDS)に対する最も高い群(7~9MDS)のオッズ比は0.52で、順守度と大腸がんリスクに有意な逆相関がみられた($P<0.0001$)。地中海食スコアが1ポイント上がることによるオッズ比は0.89であった。この逆相関は、各研究やがんの解剖学的位置で一貫していた。したがって、地中海食の本場イタリアの研究においても、地中海食の順守と大腸がんリスクの低下に関連がみられることが確認された。

出典：British Journal of Cancer. 2016; 115(7): 862-865